

日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業  
2018 北九州市障がい者陸上競技教室が開催されました

6月16日(土)、「日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業 2018 北九州市障がい者陸上競技教室」が北九州市鞆ヶ谷陸上競技場にて開催されました。今年は天候にも恵まれ、総勢50名を超える教室となりました。



本教室は多くの方々の協力を得て、2014年より始まり、毎年ハンドサイクルやレーサーの操作に慣れていく子ども達の姿や、顔見知りが増え、子どもも大人も関係なく楽しそうにトラックを走る姿がみられます。また、年々少しずつ県内、外からの参加が増え、子どもたちはもち

ろんのこと、「色々な方と出会えて遠くから来た甲斐がありました」と声をかけて下さった親御さんや、初めて参加し「出来ることがまだまだある」と涙ながらに話される親御さんの姿を見て、教室を通して何かのきっかけになること、さらには継続することで一つ一つの小さな繋がりが広がっていくことの大切さを感じています。

開催にあたりましては、日本財団パラリンピックサポートセンターをはじめ、日本パラ陸上競技連盟、九州パラ陸上競技協会、講師・ボランティアの皆さま、マイクロロン様、デジスパイス様とたくさんのご協力があったの教室であり、この場をお借りして、皆さまに深くお礼申し上げます。



小さなクラブではありますが、感謝の意を忘れず、これからもこのような活動に取り組



んで行きたいと思います。本当にありがとうございました。

北九州市障がい者陸上競技クラブ  
小谷 鮎美